2014年　福祉サービス研究発表会

企業との連携による清掃作業の有用性を探る

小茂根福祉園の場合

障害者支援系グループ

小茂根福祉園

片桐　啓太　　上田　トシ江
松﨑　公平　　高田　紀子
加川　勝己　　坂田　瞳
粟澤　理

アドバイザー　田園調布学園大学　　村井　祐一　教授

小茂根福祉園施設概要

所在地

- 東京都板橋区

サービス内容

- 生活介護サービス
- 就労継続支援Ｂ型サービス

就労継続支援Ｂ型サービスの活動内容

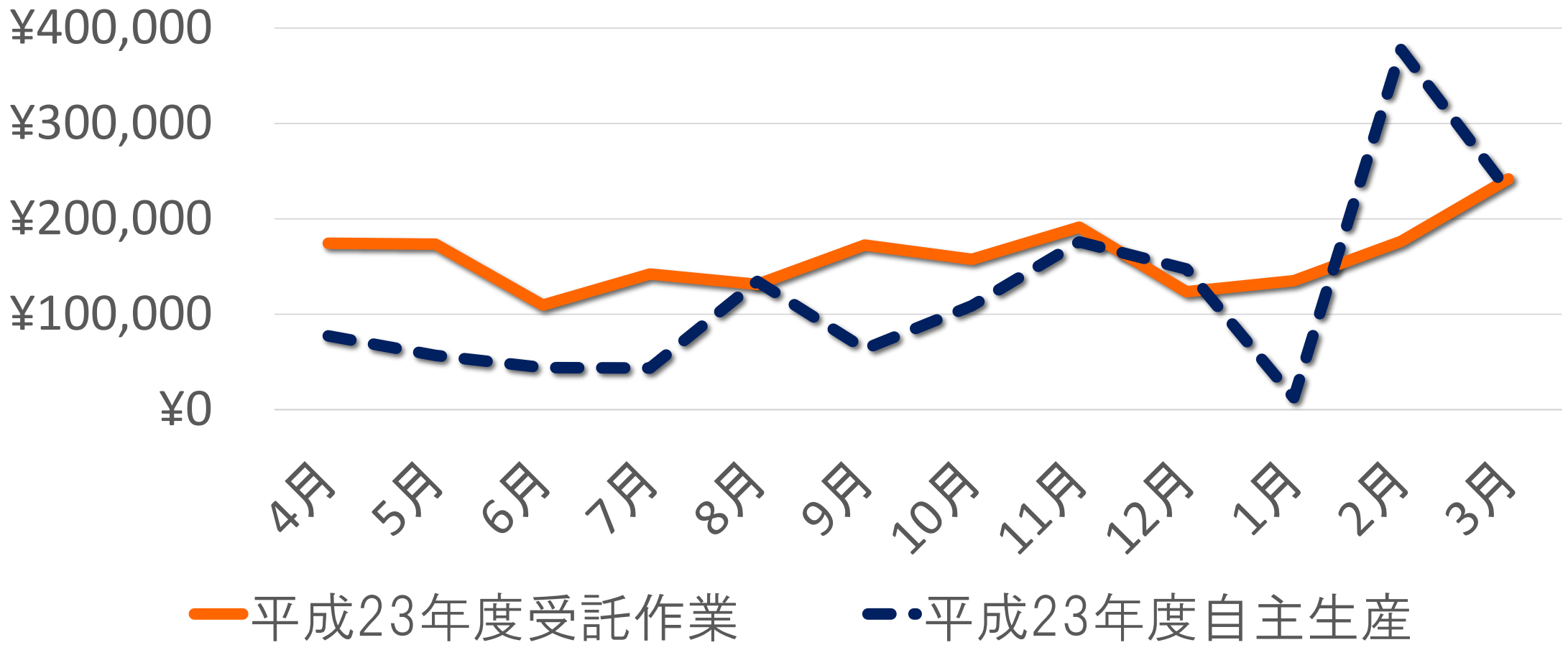
- ①受託作業(主に内職作業)
- ②自主生産作業(コーヒー・自主ブランド)
- ③清掃作業

就労継続支援B型サービスとその役割

・通常の事業所に**雇用されることが困難**な障害のある方に対し、**地域生活を実現・充実**させることが可能な**工賃水準の向上**が求められる

・つまり、障害基礎年金と併せて、グループホーム等による地域生活が見込める**安定した工賃（給料）額の確保**が求められている。

事業毎の収入


¥400,000
¥300,000
¥200,000
¥100,000
¥0
4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月
1月
2月
3月
平成23年度受託作業
平成23年度自主生産

「清掃」を選んだ４つの理由

反復によって
習熟が可能

地域社会に
参加できる

得意分野を
活かせる

契約による
安定収入

清掃作業について

平成２４年度より開始　清掃システムを導入している**専門企業（Ａ社）**から１年間の研修を受ける。

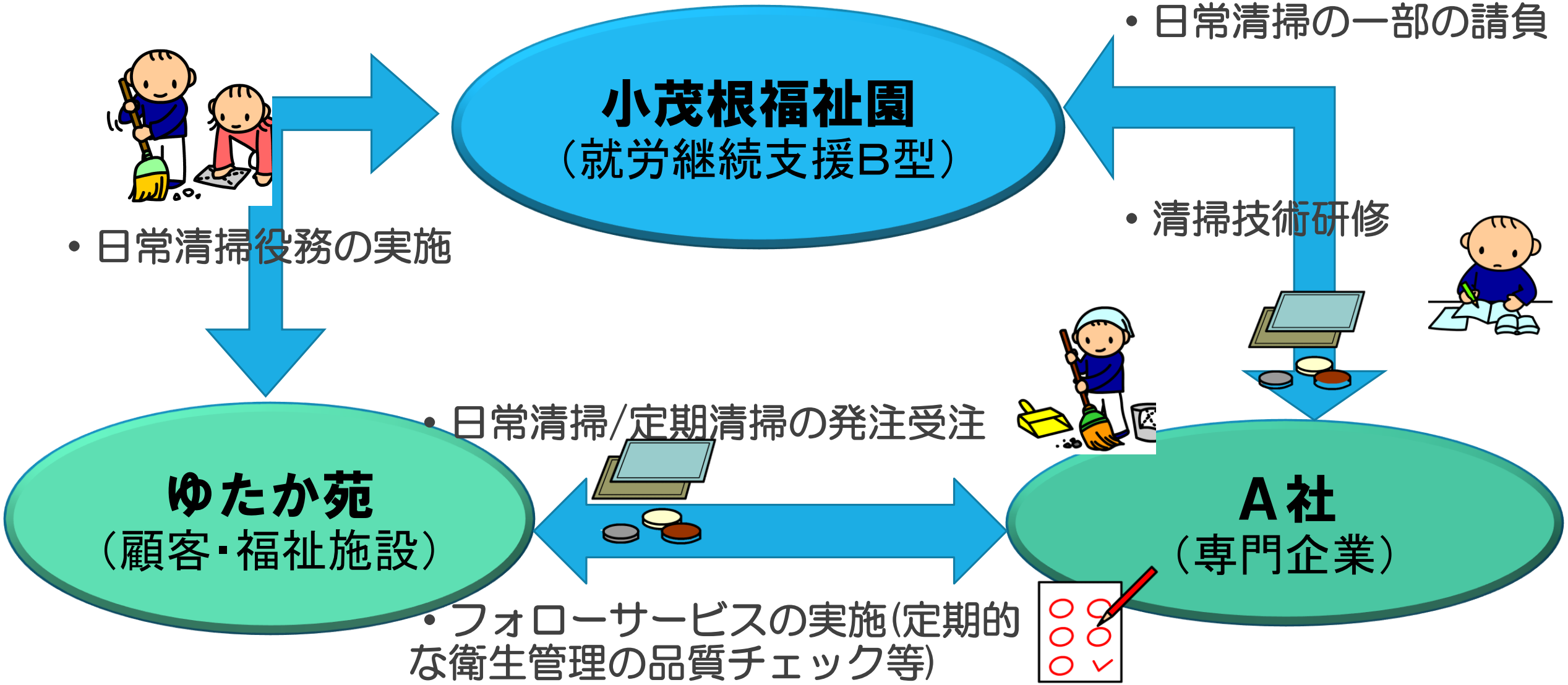
平成２５年４月～特別養護老人ホーム「ゆたか苑」の清掃をA社が請け負う。それに伴い、**日常清掃の一部を「小茂根福祉園」**が請け負う。

参加利用者：開始当初５名でスタート

実施状況：週１日実施。

→**「全館清掃」**を目指す。

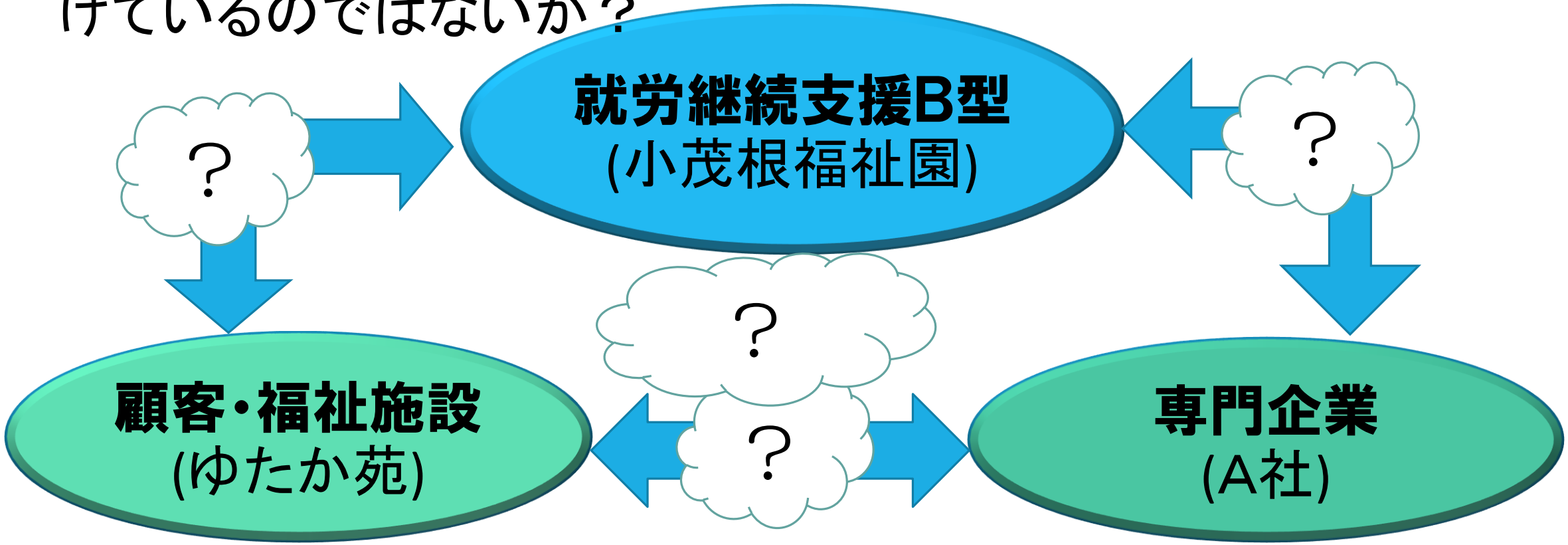
清掃事業相関図と賃金フロー



研究目的

・就労継続支援B型事業所にとって再現しやすい取り組みやすい事業として有用な選択肢になり得るのではないか？

・企業連携している事業の状態が、清掃事業に有用な相関図が描けているのではないか？



本事業の特徴について

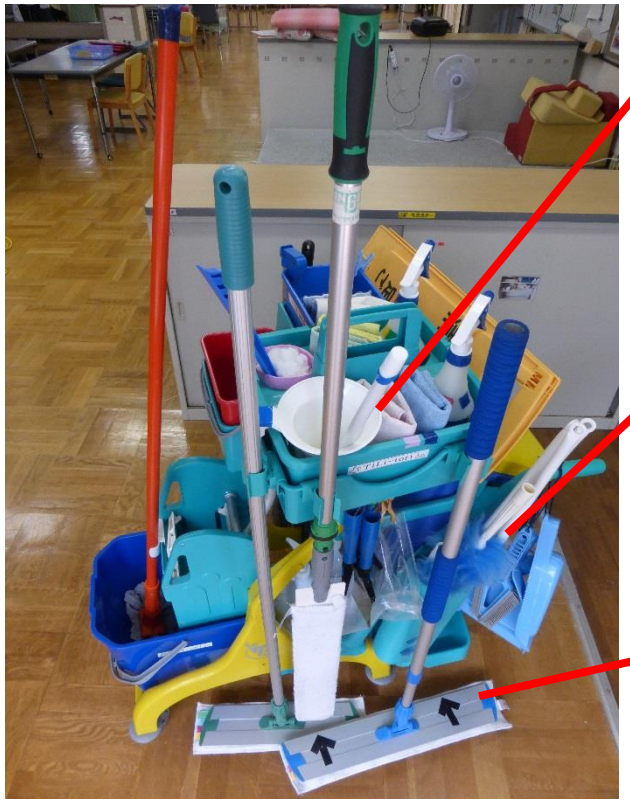
作業比較

	清掃作業	企業受注作業	自主生産作業
専門性	研修受講により**専門技術習得可能**	習熟しやすいが単純作業が多い	商品知識等、専門家のアドバイスで習得機会がある
収入	年間契約で**安定**	取引企業に左右される	販売実績に左右される
作業特性	施設外就労 **多くの人と関わりを持てる**	施設内就労 慣れている場所での就労	施設内就労 慣れている場所での就労
利用者への影響	**協働の精神が生まれやすい**	参加しやすいが単独作業が中心	能力の高さを要求される

小茂根福祉園が行う清掃

これまでは・・・

小茂根福祉園では



カート

トイレセット

便器や洗面台等これひとつで洗浄・除菌・消臭！

ふわふわ

高いところのほこりは逃さず除去します！

60

床のゴミはお任せ

清掃技術研修

受講者　　：参加利用者・職員

講師　　：企業社員

期間　　：約１年間

清掃技術研修のカリキュラム

用具の使用方法

清掃箇所に対する手順

現場における配慮事項やリスク回避に必要な知識（職員）

現場でのマナー

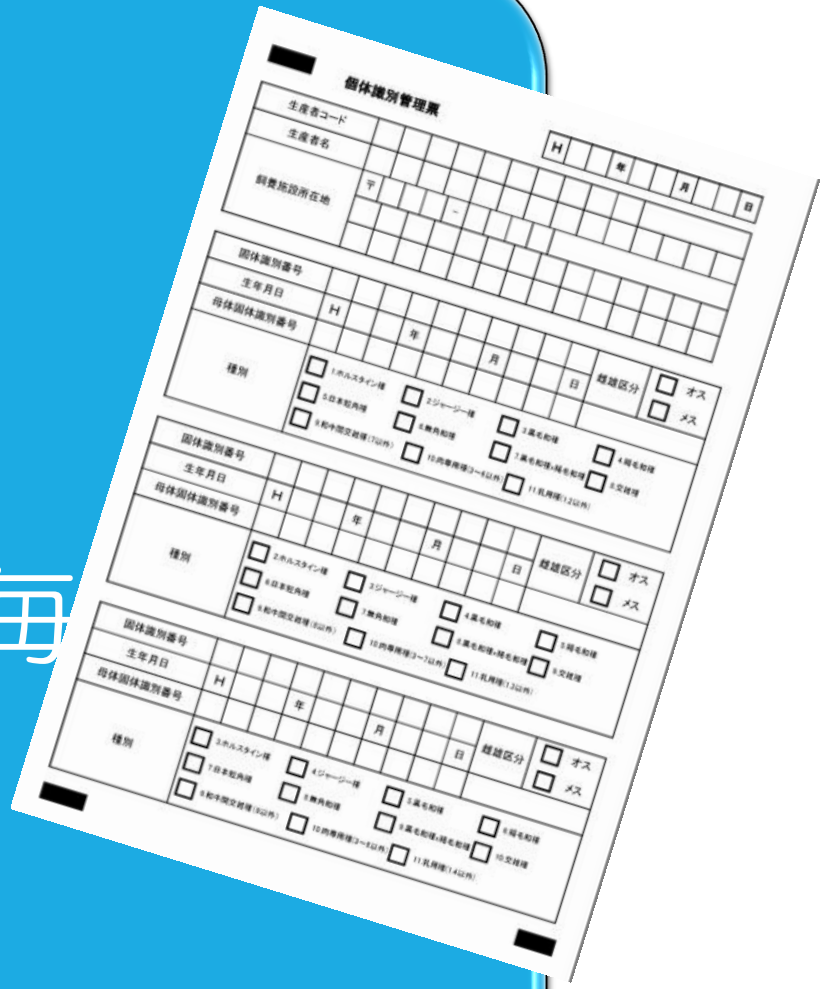
専門的技術評価

評価対象：参加利用者

評価者　：企業社員

時期　　：研修終了後、約３か月毎

評価項目：**約100項目**



小茂根福祉園の清掃作業は

専門的な
アセスメント

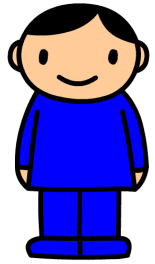
現場デビューの可
否判断

清掃品質の
担保

フォローアップ
ポイントが明確

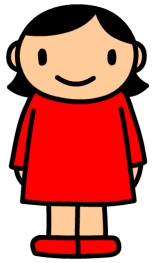
清掃品質を維持する仕組みがシステム化されている

チーム就労　チームを組まない場合の清掃例



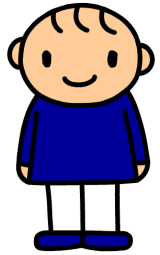
Aさん
トイレ掃除・・・**得意：15分**
モップ掛け・・・ふつう：20分
流し台掃除・・・**苦手：25分**

→ エリア①
トイレ＋モップ＋流し台＝60分



Bさん
トイレ掃除・・・ふつう：20分
モップ掛け・・・**苦手：25分**
流し台掃除・・・**得意：15分**

→ エリア②
トイレ＋モップ＋流し台＝60分

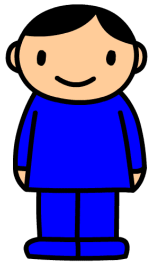


Cさん
トイレ掃除・・・**苦手：25分**
モップ掛け・・・**得意：15分**
流し台掃除・・・ふつう：20分

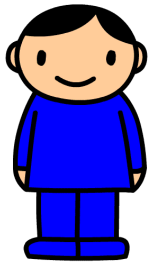
→ エリア③
トイレ＋モップ＋流し台＝60分

マルチな人材であっても得意分野・苦手分野はあります。
苦手分野でもある程度の技術水準を求められます。

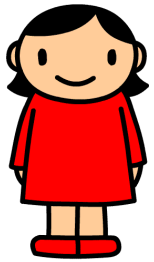
チーム就労　技術に偏りがある場合



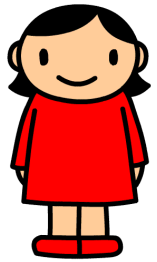
Aさん
トイレ掃除・・・**得意：15分**
モップ掛け・・・ふつう：20分
流し台掃除・・・**苦手：25分**



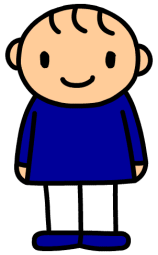
Dさん
トイレ掃除・・・**得意：15分**
モップ掛け・・・ふつう：20分
流し台掃除・・・**大苦手：40分**



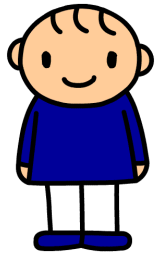
Bさん
トイレ掃除・・・ふつう：20分
モップ掛け・・・**苦手：25分**
流し台掃除・・・**得意：15分**



Eさん
トイレ掃除・・・ふつう：20分
モップ掛け・・・**大苦手：40分**
流し台掃除・・・**得意：15分**



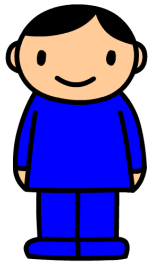
Cさん
トイレ掃除・・・**苦手：25分**
モップ掛け・・・**得意：15分**
流し台掃除・・・ふつう：20分



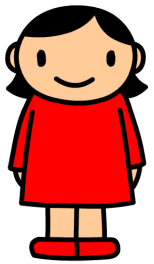
Fさん
トイレ掃除・・・**大苦手：40分**
モップ掛け・・・**得意：15分**
流し台掃除・・・ふつう：20分

技術に偏りがある場合、苦手な分野が目立ってしまい、
せっかくの技術が活かされない可能性があります。

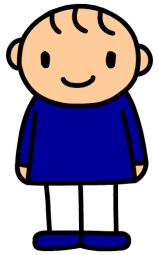
チーム就労　技術に偏りがあってもチームを組むことで



Dさん
トイレ掃除・・・**得意：15分**
モップ掛け・・・ふつう：20分
流し台掃除・・・**大苦手：40分**



Eさん
トイレ掃除・・・ふつう：20分
モップ掛け・・・**大苦手：40分**
流し台掃除・・・**得意：15分**



Fさん
トイレ掃除・・・**大苦手：40分**
モップ掛け・・・**得意：15分**
流し台掃除・・・ふつう：20分

清掃チーム
トイレ掃除・・・Dさん担当：**得意：15分**
モップ掛け・・・Fさん担当：**得意：15分**
流し台掃除・・・Eさん担当：**得意：15分**

得意な分野で貢献することで
結果的にマルチな人材を上回る作業効率が得られる場合があります。

マルチな人材とチーム就労の比較

マルチな人材 （マルチに活躍できる個人）	チーム就労 （マルチに活躍できる集団）
• 総作業量＝健常者１人分 • 就業人数＝１人 • １人に求められる技術＝全ての技術	• 総作業量＝健常者１人分 • 就業人数＝２人以上 • １人に求められる技術＝得意な部分のみ活かす（メンバー間で補完すればOK）

チーム就労は得意な分野で貢献すれば良く、苦手な分野で多くを求められない分、**１人あたりの負担が小さい**と言えます。

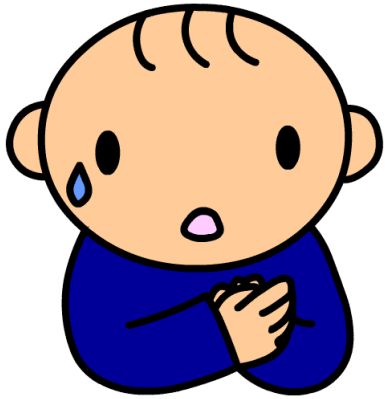
チーム就労　チームワーク

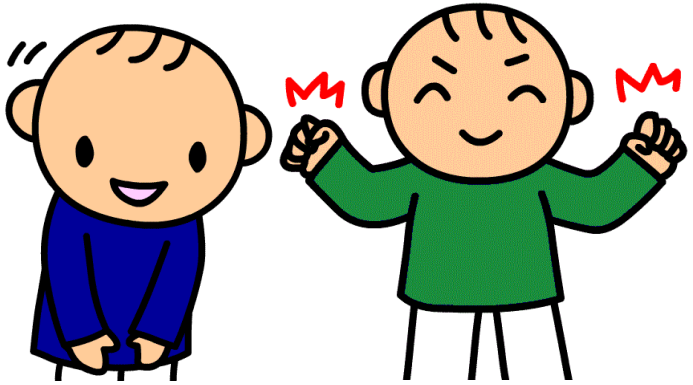
①苦手な仕事がある→自信ない

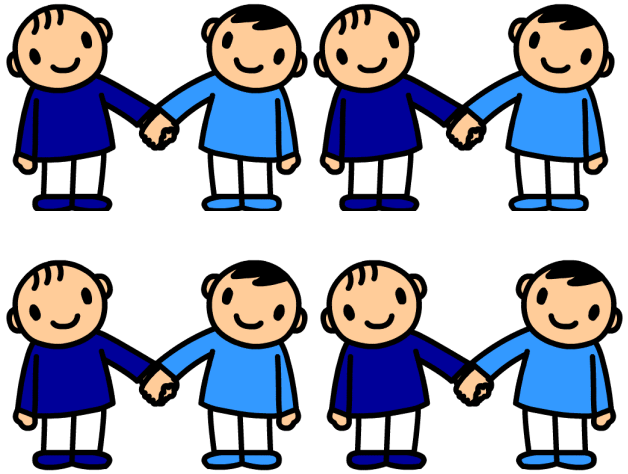
②得意な（できる）人が補完してくれる。

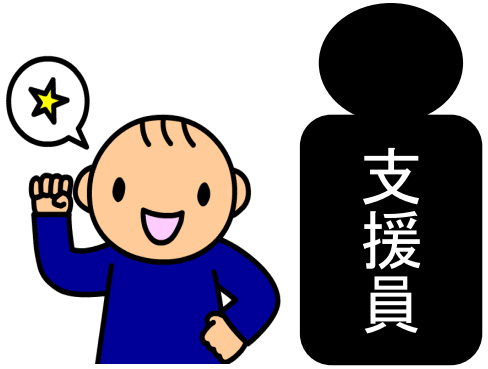
③助け合う
必要とし合う関係

④＋α　支援員の直接支援



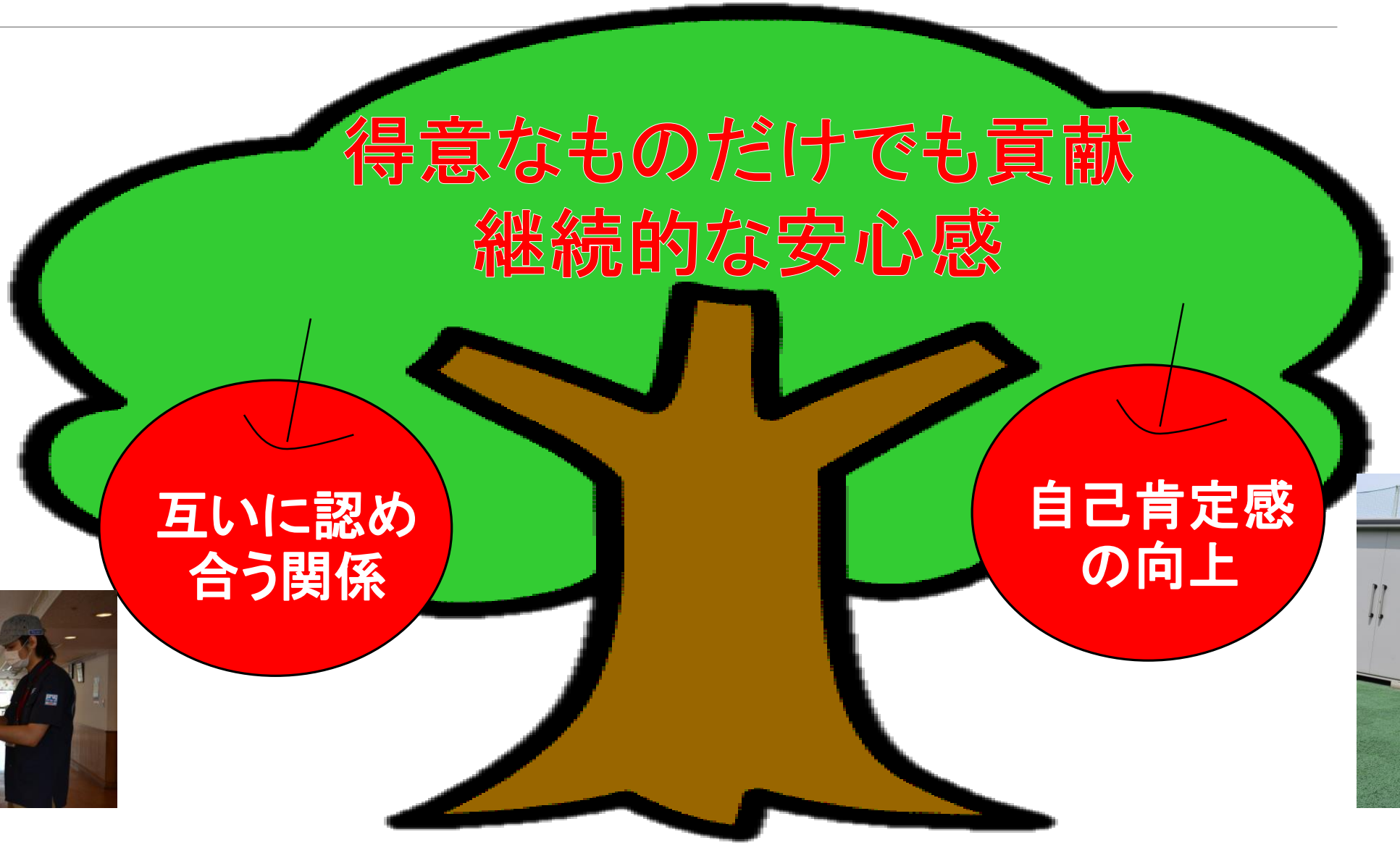






ギブ＆テイクの精神が生まれやすい

チーム就労　チームワーク



チーム就労　リタイアするリスクが少ない

体調を崩しても（長期休みでも）

メンバーが穴を埋める。

いつでも復帰できる。

本人のペースで参加が可能

- 体調面・モチベーションに左右されにくい！

活躍できる場所が担保されている

- 自分が抜けても、仕事がなくならない！

就労継続支援B型（小茂根福祉園）
顧客（ゆたか苑）
専門企業（A社）

関係者のメリット

利用者の声　（アンケートから）

質問:「清掃作業を始めて自分自身が変わったことはありますか？」

7か月後

Bさんの解答例

- 自信がついた
- 清掃の日が楽しみになった
- 園に来るのが楽しみになった
- 人に感謝されて嬉しいと思うようになった
- 家でも掃除するようになった
- 家族や他の人との会話が増えた
- 清掃や衛生面に興味を持つようになった
- 清掃で就職したいと思うようになった
- 清掃の日は「仕事をした」という思いが強く感じられる
- 清掃の日は「今日は〇〇を頑張ったな」と振り返ることが多い

清掃の活動を始め、継続して参加することで、
充実感・満足感の向上や実生活への良い反映などが得られる

紹介した質問と回答は実施したアンケートから一部を抜粋したものです。

全てのアンケートおよび結果については
http://www.komone-f.net/index02.html
をご覧ください。
より利用者に対するメリットを感じ取れると思います。

清掃作業が利用者にどんな影響があるのか？

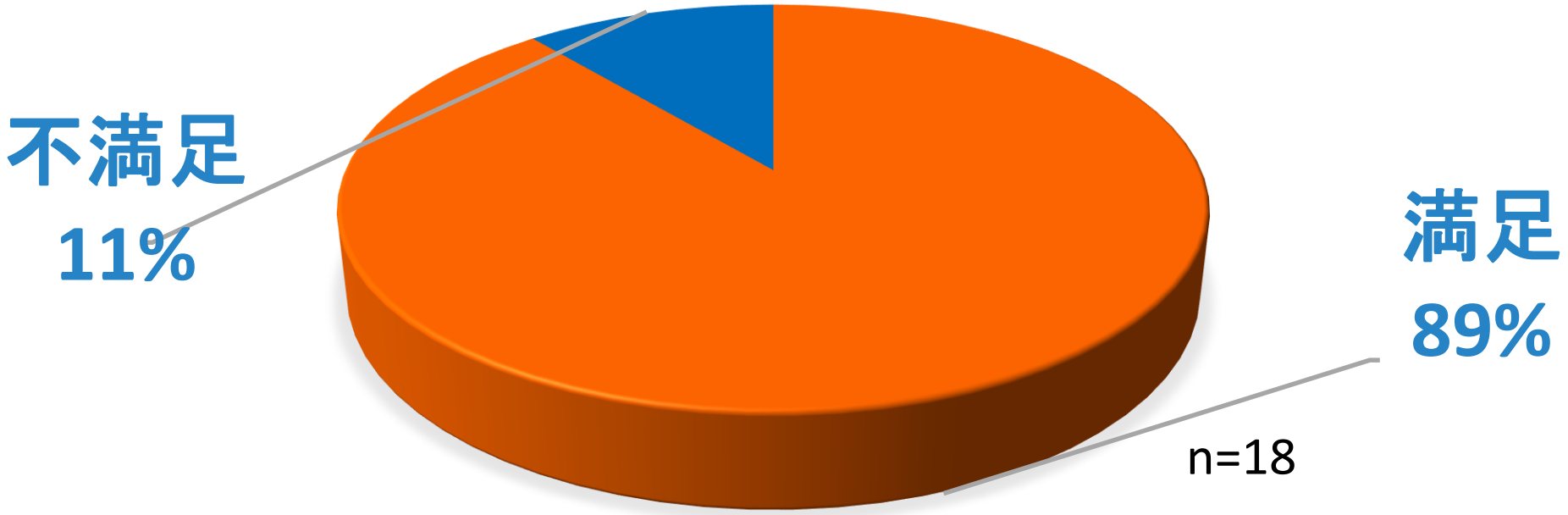
	本人	家族	職員
Cさん	他のメンバーと協力しようという気持ちが出てきた。 自信 がついた	本人が 自信 を持ち、自己価値観が上がったように思います。	自信 に満ちた表情 自信 がついてきた(7票)

▶ つまりどういうことか？

できることが増え、自己肯定感向上につながった！

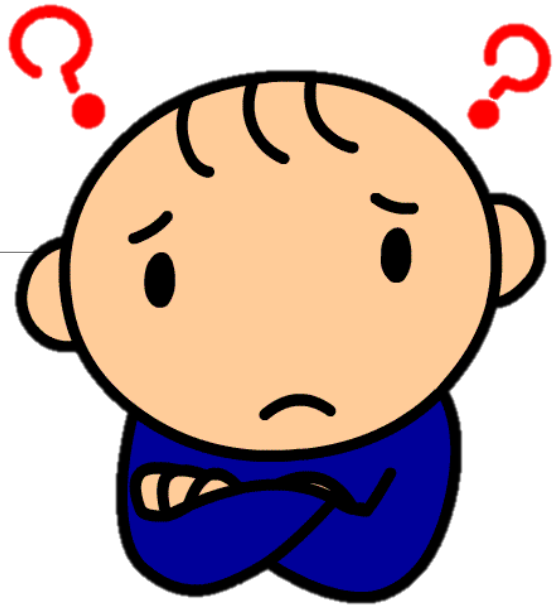
ゆたか苑のメリット

- 小茂根福祉園が行う清掃業務に対して、満足か不満足であるか？（平成26年4月調査）



- 小茂根福祉園は顧客が満足できる清掃を概ね実施できている。

では・・・
企業はどう思っているのだろう



提携している企業社員へのインタビューを実施。

・三者間における**企業側のメリット**

・専門の民間企業の視点でみる一般市場で**事業を継続する難しさ**

を調査した。

社員にとってのメリットとは

感情面に関するメリット

障害者の働く姿にやりがいを感じた。

- 中途半端な余裕の表情ではなく、**一人前に仕事をした上での表情、悲壮感がない。この人たちを手伝うなら間違いはない。**

障害者の清掃技術の向上により**充足感**が得られた。

- 一個一個出来ることが増えて仕事を任せられれば、現場での信頼を勝ち取れる。（中略）**任せるという事は自信に繋がっていく。**

社員にとってのメリットとは

業務における メリット

顧客との関わりを通して

清掃用具や方法の改善促進　に繋がった

障害者の参加実現による

清掃業務の新たな価値創造　に繋がった

- （障害者が清掃道具を使うことで）特に重度と呼ばれる方の仕事としてお金が貰える手段になる→営業の席でそれを伝える事が出来る事が役に立っている。

事業がどんな変化をもたらしたか？

障害者についての考え方

業務をする上で　視点　が変わった

- 彼らの能力が劣っている部分があるのは当然だが、それを補って余りあるものを用意しなくちゃならない。**今までの商品開発とは違う次元の取り組み、いろんな視点で考える様になれた**。

変化の影響は？

業務効果

販売方針

価値観

まとめ

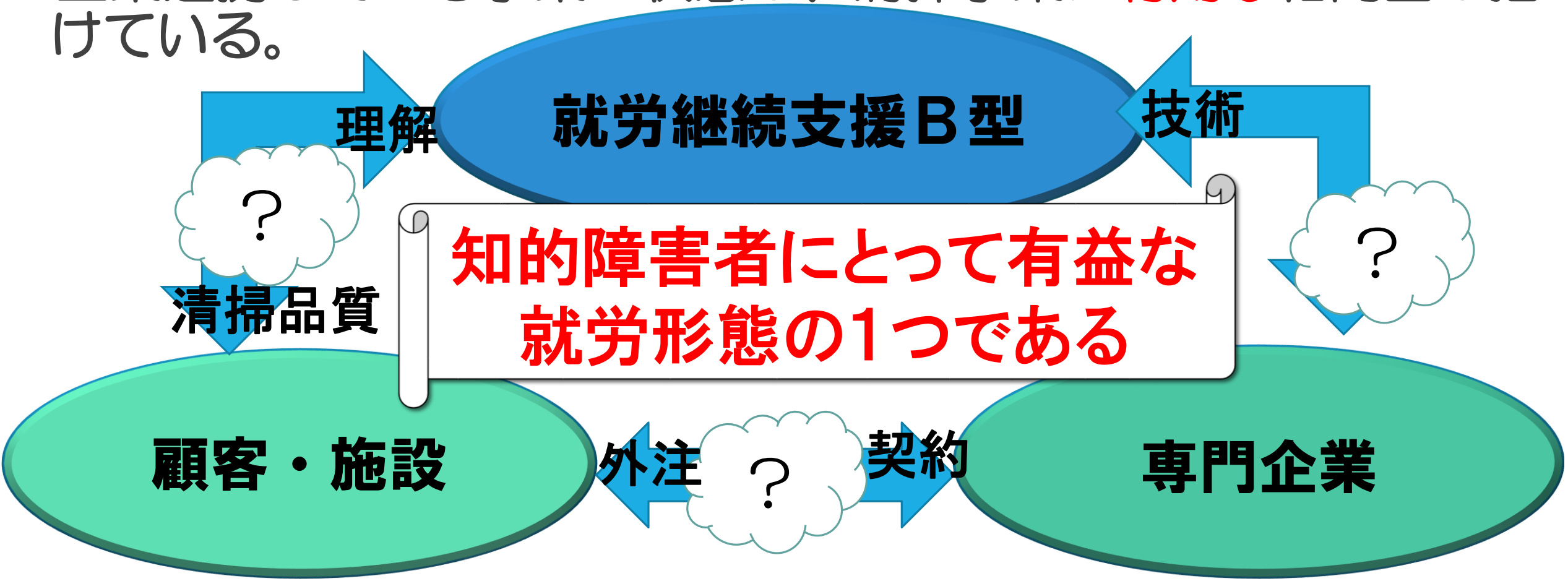
現在わかっていること

今後の課題・展望

研究結果

就労継続支援Ｂ型事業所にとって有用な選択肢であると示唆された。

企業連携している事業の状態が、清掃事業に有用な相関図が描けている。



今後の事業の課題①

請負、契約、取引先との取り決めの判断が難しい

社員
B

社員
C

今後の事業の課題②

支援員が清掃の専門家としての
意識を持つ必要がある。

社員
D

社員
E

今後の事業の課題③

実績の有無が問われる

社員
B

今後の展望①

共同受注(同じノウハウを共有した事業所同士)

・人員不足の解消　・相互で実績を積める

・負担の軽減

共同受注の取り組み

施設単位での**独立化**へ!!

・市場拡大への期待

・障害者の就労機会の創出

就労継続支援B型施設単体での請負

・実績の無さ　・利用者の疲労感

・人員不足

社会に望むこと

チーム就労への期待

障害者雇用率制度
→障害者の就労形態として**雇用契約**が要件

今回の発表の中で　チーム就労は

〇個々の得意分野を活かせる「集団」で一つの仕事と向き合える

〇支援事業所の職員が同伴する為、配慮・環境設定などの負担が少ない

清掃作業をはじめとするチーム就労も対象となったら・・・

利用者

・地域社会での**活躍の場が広がる**

企業

・**負担の少ない**中、雇用率を上げることができる
・障害者の力を必要とされる業務で**活かせる**

企業にもメリットが生まれることで
障害者の就労が様々な形で実現することを
私たちは期待しています。